

APL/J News (2018 No1)

2018 年 4 月 17 日

1 海外の WEB ページ

- VECTOR/British APL Association
VECTOR のペーパー版は Vol.26/4 March/2016 までです。以降は電子版になっています
<http://vector.org.uk>
- 貴重な VECTOR のバックナンバーが概ね電子化されて上がっています。
- home を押すと NEWS のページに入ります。今春のドイツのカンファレンスの案内などが出てきます。(ボンの近くで開催されるようです)
- SIGAPL/ACM(USA)
ACM の SIGAPL のページは更新が滞っているようです
<http://www.sigapl.org>

2 J の動向

J8x トロントは J8 を 2018 中に完成させたいようです

1. 最新のバージョンは J806 です。
2. J807Beta も公開されています

J806 の新機能 J806 で次の機能が搭載されました。

- 64 ビットでは SSE の後継の数値計算機能:AVX がサポートされ、速度が上がったようです
- WIN では ControlPanel → System で CPU を確認し Corei5 44xxx のように第 4 世代が表示されれば適応しています。概ね平成 12 年後半頃です。

- 64 ビット版は旧型の CPU (SSE 版) 用のバージョンと分けられました。
- Python との連携がサポートされた。数学や込み入った処理は Python から J を呼び出して行うことができます。(詳細は 5 月にレポートしたいと思います)
- VisualStudio との連携は鳥辺会員のレポートがあります。

Addons Addon の格納先が GitHub に変更され、公開が進むようです。

J6 からの大幅変更 J6 からの大幅な変更とサポート事情

1. FormEditor はサポートされないようです。QT の Form の作り方は次に解説があります。

Jsoftware.com の Mainpage-Guides-WindowDriver(wd)-Forms:create...

J6 のフリーデザインに対して QT はログハウス建築のようです。

2. OpenGL は一応サポートされているようで大がかりな作業が済んでおり、Modern OpenGL となっています。

Addons → api → gles に入っています

解説は Jsoftware.com の Mainpage-Guides-FrameWorks にあります

3. TurtleGraphics は著者からのアナウンスがまだありません

3 会員の図書出版

島田義弘著 「四次元の幾何学」-回転、積分、微分- プレアデス出版 June/2017
(\2400+Tax)

決して易しい本ではありませんが、難解箇所は著者のサポートが得られます！

4 J の入門コーナー

JAPLA の J 言語のコーナーに次の入門が上がっています

<http://japla.sakura.ne.jp>

- 鳥辺会員による次の翻訳が上がっています
Roger Stock [Learning J](2014)
大冊ですので DL して、またはプリントしてご利用ください
- J for SmartPhone
- J で巡る数学史

5 最新言語事情

数論とプログラムのページ [ProjectEuler] があり、世界各国 90 万人が挑戦を続けています。

<https://projecteuler.net/progress>

現在 624 問の出題が有り、週一問が追加されています。

ここに登録してサインインすると各種の統計が見られます。

トップ、2 位は日本人で、トップ 10 には日本 3, ロシア 2, USA2, フランス、中国、スロバキア各 1 名です

使用言語は C 連合 (C/C++/C#/Java) と Python が双耳峰を形成していますが、裾野は生物多様性のように各種言語のお花畑が見られます。

BASIC、FORTRUN はそれほど多くはなく、Mathematica も優位を築けていないようです。

さて APL/J/K ですが、決して多くはないがコアなユーザーが多く、果敢に問題にチャレンジしています。

一度ご覧になってください。

6 APLJ と J のワークショップ論文のパッケージ化

J のワークショップやシンポジウムの論文は 15-20 年の積重ねで 1000 編ほどが上がっているが深海化して引き出しが困難になっており、有用な Script の Up to Date とパッケージ化が望まれます。

そのうち 00 編ほどのパッケージ化を計画しております。

徐々に進めたいと思いますので参画をお願いします

- Mathjax(HTML に Tex を埋め込む機能) を用いた HTML で。
- 整理は事務局で行いますので Word などどのようなものでも OK です。
- オリジナルの論文と Script は HTML 上で引用する
- 簡単な解説 (日本語と英語など) をつける
- Working Example をつける